

変化の割合（傾き）

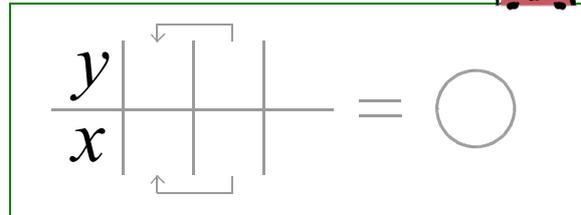
・・・1次関数の式で  $a$  にあたる部分を「変化の割合」または「傾き」という

$$\left. \begin{array}{l} \text{変化の割合} \\ \text{傾き} \end{array} \right\} = \frac{y \text{の増加量}}{x \text{の増加量}}$$

呪文のように  
「変化の割合イコール  
xの増加量分のyの増加量」  
と覚えましょう！

↓は、1次関数①で覚えた、変化の割合を求める裏ワザの表です。  
矢印や、「イコールまる」までしっかり書いてくださいね！

変化の割合の求め方



例題 次の問いに答えなさい。

$y = 3x + 2$  で、 $x$  の値が  $-2$  から  $3$  まで増加するときの変化の割合と  $y$  の増加量を求めなさい。

①

$y$			
$x$	$-2$	$3$	

= ○

↑  
↑

xの行に、いくつからいくつまで増加するのか記入する。

④

$y$	$-4$	$11$	
$x$	$-2$	$3$	

= ○

↑  
↑

ひき算の答えがそれぞれxの増加量とyの増加量になる。

②

$y$	$-4$	$11$	
$x$	$-2$	$3$	

= ○

↑  
↑

それぞれのxの値のとき、yの値がいくつになるか記入する。

⑤

$y$	$-4$	$11$	$15$
$x$	$-2$	$3$	$5$

= ○

↑  
↑

約分すると変化の割合が求められる。

③

$y$	$-4$	$11$	
$x$	$-2$	$3$	

= ○

↑  
↑

xの行とyの行、「後ろひく前」の式を書く。

変化の割合は  $3$ 、 $y$  の増加量は  $15$

例題 次の問いに答えなさい。

$y = 2x + 5$  で、 $x$  の増加量が  $4$  のときの  $y$  の増加量を求めなさい。

①

$y$			
$x$			$4$

= ○

↑

はじめからxの増加量がわかっているのでここに書きます。

②

$y$			
$x$			$4$

= ○

↑

変化の割合は  $a$  の部分ですね！

$\frac{y \text{の増加量}}{4} = 2$  となり、両辺に4をかけて  $y$  の増加量は  $8$